

就任のご挨拶

関東経済産業局資源エネルギー環境部
石油課長 岡野 忠幸

この度、4月21日付けで石油課長に就きました岡野でございます。

前職は、同じ資源エネルギー環境部内にある環境リサイクル課において家電リサイクル法や自動車リサイクル法などに基づく検査等の業務、環境ビジネスの振興・支援等の業務に携わっておりました。石油関係の業務に係わるのは今回が初めてになります。皆様方には多々、教えて頂くことがあると思いますが宜しくお願い申し上げます。

さて、最近の石油情勢を見ますと、ニューヨーク先物市場でWTI 価格が高騰する中、国内石油製品の価格は値上がりが続けており、国民生活はもとより農・水産業、運送業等の産業活動や中小企業等の経営への影響が懸念されるなど、国内経済に与える影響は深刻さを増しつつあります。

LPガスを取り巻く環境も同様に、CPがトン500ドル台から800ドル台で推移し、ここ1年で急激に値上がりしたことから企業努力では吸収しきれず販売価格への転嫁を余儀なくされ、また、需要面では首都圏でのオール電化や都市ガスとのエネルギー間競争が激しさを増すなど、より厳しい状況となっております。

一方LPガスは、昨年7月に発生した新潟中越沖地震等、被災後のライフラインの一つとしていち早く普及し、また、仮設住宅等の被災者が利用するエネルギーとして安全性・利便性が注目されておりますが、さらに、消費機器においても燃焼効率が高い省エネ機器の開発・販売によって、消費者への利用促進が期待されているところです。

しかしながら、LPガスの取引においては、価格の変更や消費設備の所有関係が消費者にとって分かりにくいといった苦情相談や、LPガス事業者間のガスの切替に関するトラブルが当局へ多数報告されております。この様な問題が関東地域特有のものであるとすれば、関東のLPガス業界全体が問題意識をもって、取引の透明化、切替ルールの適正化を図って頂くことを特にお願いしたいと思っております。

液化石油ガス事業が今後さらに発展していくためには、消費者から信頼されることがま

ずもって重要です。消費者ニーズ、市場環境を的確に捉え、取引のより一層の適正化を推し進めるよう重ねてお願いをいたします。

最後に、関東液化石油ガス協議会及び会員の皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念致しまして、私の就任の挨拶とさせていただきます。